アートを目的とする旅行 20代男性は割合が高い

JTB調査

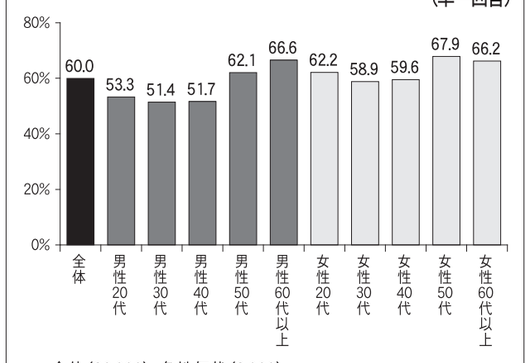
「アート旅男子」に注目

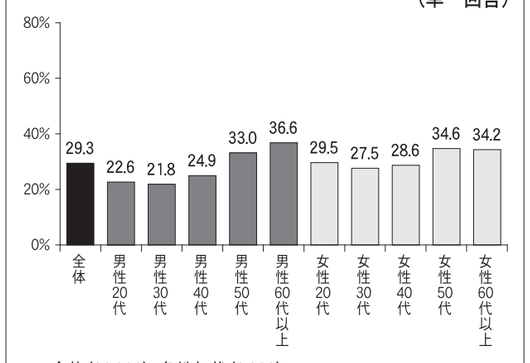
美術館や芸術祭など「興味ある」74％

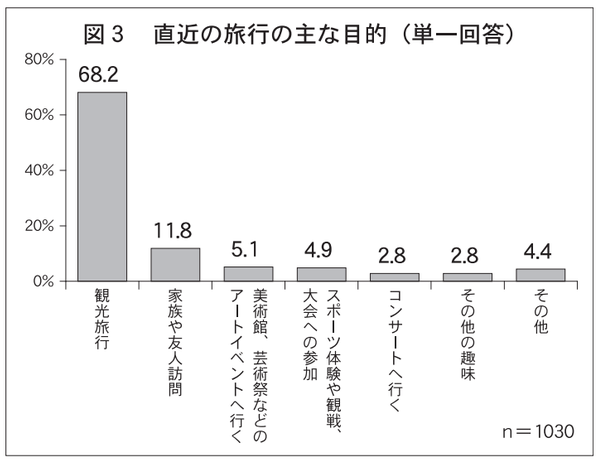
2000年に始まった「大地の芸術祭　越後妻有アートトリエンナーレ」の成功や、文化庁による文化芸術創造都市推進事業の整備などを受けて、日本各地でアートを通じた地域活性化への動きが広まっている。旅行者はどのようにアートと関わりを持ちたいと考えているか。JTBは「アート旅（美術や芸術祭などを楽しむ旅）に関する調査」を実施した。

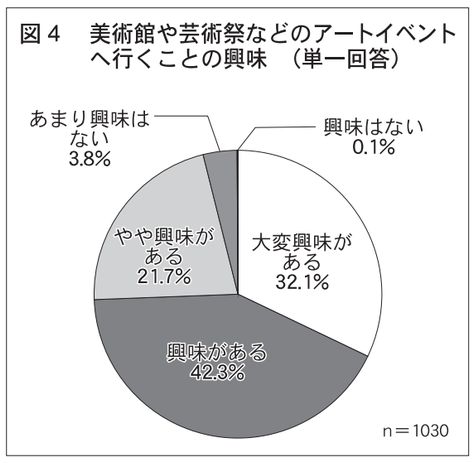
調査は東京、大阪、名古屋圏に住む20～69歳の男女を対象として、インターネットで9月5～7日に実施。スクリーニング調査（事前調査）でふるい分けたうえで、本調査を行っている。

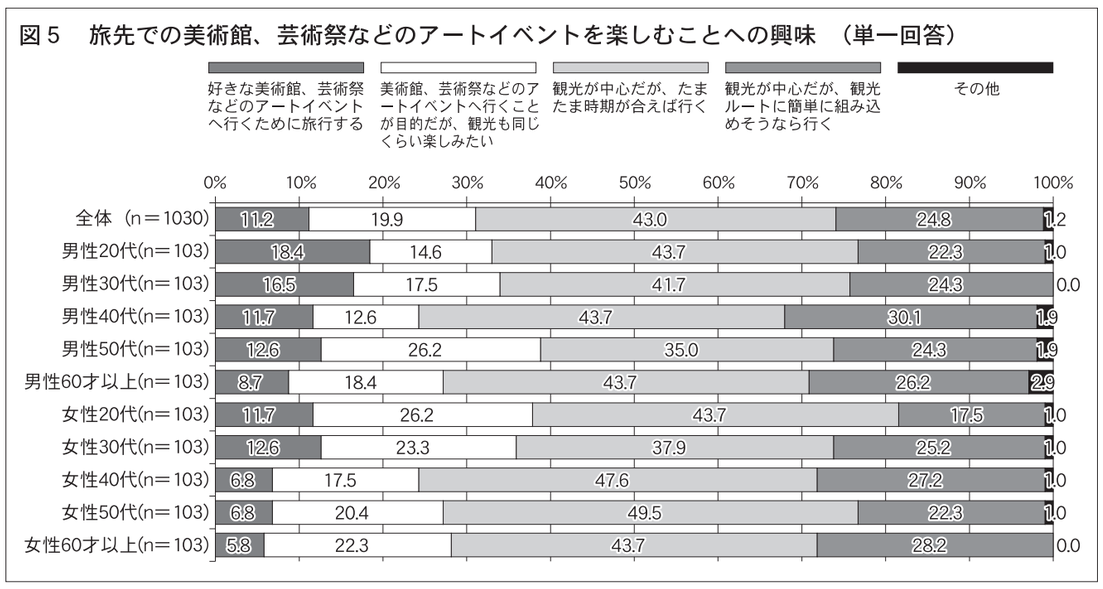
旅先かどうかなど場所や時期にかかわらず、これまでに美術館、芸術祭などのアートイベントへ行った経験があるかどうかを、2万人のスクリーニング調査対象者に対して聞いたところ、60・0％が「経験がある」と回答した＝図1。また、旅行先で、これまでに美術館や芸術祭などのアートイベントへ行った経験がある人は全体の29・3％と

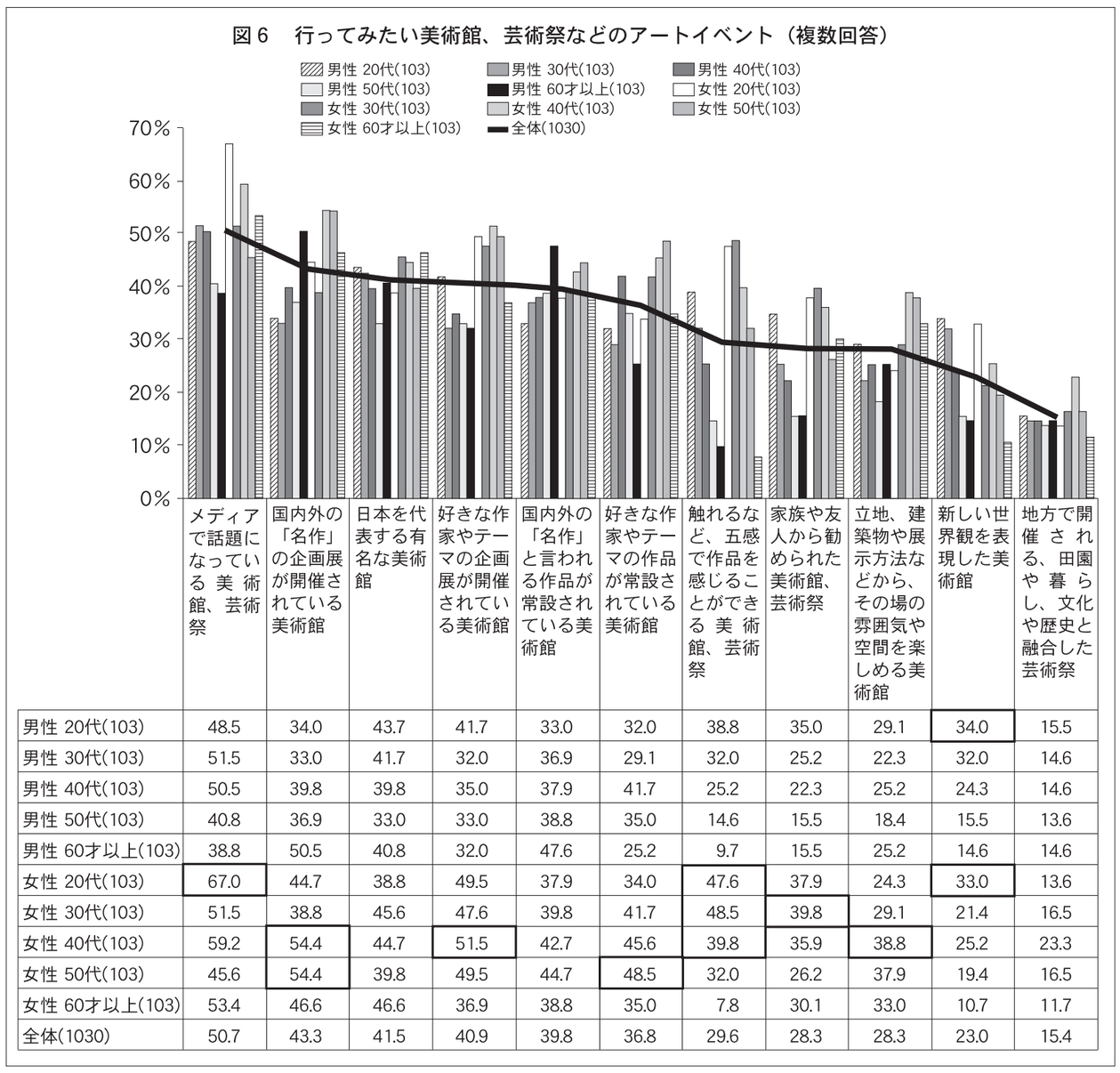












	メディアで話題になっている美術館、芸術祭	国内外の「名作」の企画展が開催されている美術館	日本を代表する有名な美術館	好きな作家やテーマの企画展が開催されている美術館	国内外の「名作」と言われる作品が常設されている美術館	好きな作家やテーマの作品が常設されている美術館	触れるなど、五感で作品を感じることができる美術館、芸術祭	家族や友人から勧められた美術館、芸術祭	立地、建築物や展示方法など、その場の雰囲気や空間を楽しめる美術館	新しい世界観を表現した美術館	地方で開催される、田園や暮らし、文化や歴史と融合した芸術祭
男性 20代(103)	48.5	34.0	43.7	41.7	33.0	32.0	38.8	35.0	29.1	34.0	15.5
男性 30代(103)	51.5	33.0	41.7	32.0	36.9	29.1	32.0	25.2	22.3	32.0	14.6
男性 40代(103)	50.5	39.8	39.8	35.0	37.9	41.7	25.2	22.3	25.2	24.3	14.6
男性 50代(103)	40.8	36.9	33.0	33.0	38.8	35.0	14.6	15.5	18.4	15.5	13.6
男性 60才以上(103)	38.8	50.5	40.8	32.0	47.6	25.2	9.7	15.5	25.2	14.6	14.6
女性 20代(103)	67.0	44.7	38.8	49.5	37.9	34.0	47.6	37.9	24.3	33.0	13.6
女性 30代(103)	51.5	38.8	45.6	47.6	39.8	41.7	48.5	39.8	29.1	21.4	16.5
女性 40代(103)	59.2	54.4	44.7	51.5	42.7	45.6	39.8	35.9	38.8	25.2	23.3
女性 50代(103)	45.6	54.4	39.8	49.5	44.7	48.5	32.0	26.2	37.9	19.4	16.5
女性 60才以上(103)	53.4	46.6	46.6	36.9	38.8	35.0	7.8	30.1	33.0	10.7	11.7
全体(1030)	50.7	43.3	41.5	40.9	39.8	36.8	29.6	28.3	28.3	23.0	15.4

旅先での美術館やアートイベントを知るきっかけとなるのは、1位「テレビ番組」（21・7％）、2位「新聞」（17・0％）となり、従来型のメディアの存在が大きい。美術館やアートイベントに関する今後の展示予定や、見どころなどの解説がまとめられているため、美術館やアートイベントに興味のある人は定期的にチェックし、予定を立てていると考えられる。旅先での美術館、芸術祭などのアートイベントの詳細情報はどこで調べるかについては、多くの人が「インターネットの検索サイト」（54・0％）、「美術館、アートイベントのホームページ」（45・7）％などウェブサイトをあげた。

調べる内容としては「企画展の内容」（83・4％）が1位となった。全体としては、企画展への興味がやはり強いようだ。年代別や性別にみると、若い層では企画展に関するイベントの情報や作家の情報、女性は併設するカフェやレストランなどの情報にも興味が強い傾向がみられた。

どんな美術館、芸術祭などのアートイベントへ行ってみたいかという質問に対して、多かった回答は「メディアで話題になっている美術館、芸術祭」（50・7％）、次いで「国内外の『名作』の企画展が開催されている美術館」（43・3％）となった＝図6。全体的にみて、常設展より話題になりやすい企画展に惹かれる人が多く、女性によりその傾向が強い。中でも20代の女性は「メディアで話題になっている美術館、芸術祭」の割合が平均より20ポイント近く高く、話題性を重視する傾向がある。また、「立地、建築物や展示方法などから、その場の雰囲気や空間を楽しめる美術館」も女性の方が高い割合で選択をしていた。40代の女性では「地方で開催される、田園や暮らし、文化や歴史と融合した芸術祭」をあげる人も多い。

さらに、20～30代の男女では「触れるなど、五感で作品を感じることができる美術館、芸術祭」までで7割近くとなった。美術館やアートイベントに「大変興味がある」と回答している人でも、2、3時間が40・5％と最も高い結果となっている。体験イベントや夜でも楽しめるなど、より滞在時間を伸ばして楽しんでもらう工夫の余地はあるのではないだろうか。

訪日外国人旅行者にお勧めをしたい美術館やアートイベントを取り巻く自然や風景なども含めて日本の良さを感じることができる場所が選ばれた。

また、自分で行きたい美術館としては、「国立新美術館」「国立西洋美術館」など日本を代表する定番の美術館があがった。行きたいアートイベントは、国内では「ヨコハマトリエンナーレ」「瀬戸内国際芸術祭」、海外では「ヴェネツィア・ビエンナーレ」が上位にあがっている＝表1、2。

性年代別の特徴をみると、20～30代の男女で「好きな美術館、芸術祭などのアートイベントへ行くために旅行する」の割合が高くなった。特に20代の男性は「好きな美術館、アートイベントへ行くために旅行する」割合が18・4％と全体の11・2％を大きく超え、アートを主な目的とした旅行への興味の強さがうかがえる＝図5。若者、特に男性は昔に比べて旅行しなくなったと言われているが、アートについては関心が高く、十分に旅行への動機づけになるのではないだろうか。

また、20～30代の女性は「美術館、芸術祭などのアートイベントへ行くことが目的だが、観光も同じくらい楽しみたい」（20代女性26・2％、30代女性23・3％、全体19・9％）と観光もアートも、よくばりたいという意向が見られる。いずれにしても、美術館、芸術祭などのアートイベントは、20～30代の男女を旅行へと誘うきっかけとなりうると回答している。

今後、旅先で美術館、芸術祭などのアートイベントを楽しむことへの意向を聞いたところ、全体で最も多かったのは、「観光が中心だが、たまたま時期が合えば行く」（43・0％）、次いで「観光が中心だが、観光ルートに簡単に組み込めそうなら行く」（24・8％）となった。観光を中心に楽しみたい人は多いものの、時期やルートがうまくはまれば行きたいと考える人は少なくないだろうか。

また、美術館やアートイベントを目的とした旅行については、「美術館、芸術祭などのアートイベントへ行くことが目的だが、観光も同じくらい楽しみたい」（20代女性26・2％、30代女性23・3％、全体19・9％）と観光もアートも、よくばりたいという意向が見られる。いずれにしても、美術館、芸術祭などのアートイベントは、20～30代の男女を旅行へと誘うきっかけとなりうると回答している。

訪日外国人旅行者に勧めたい「足立美術館」

表１　訪日外国人旅行者にお勧めしたい美術館やアートイベント（自由回答）

訪日旅行者にお勧めしたい美術館			お勧めしたい理由	都道府県
1	足立美術館	37	庭園を見ながらお茶も楽しめるので、じっくりと眺めて日本を感じてほしい。	島根県
2	直島（瀬戸内国際芸術祭）	21	美術品だけでなく島全体を体験できる。現代美術と日本の古き良き風景が融合されている。	香川県
3	箱根彫刻の森美術館	18	日本でも有名な温泉地である箱根の自然や、富士山の眺望なども楽しめる。小さい子供から楽しめる美術館である。	神奈川県
4	大原美術館	15	倉敷の街の雰囲気と、美術館の所蔵作品を楽しんでほしい。	岡山県
5	上野の森美術館	12	上野一帯は美術館や動物園、科学博物館などが集まってるので気軽にアートに触れることができる。	東京都
6	国立新美術館	11	美術館自体が面白く立地も良いので、さまざまな観点から日本を楽しめる。	東京都
7	奈良国立博物館	10	正倉院宝物を始め、随一のコレクションが楽しめ、アクセスもよい。	奈良県
8	根津美術館	9	展示物も日本らしいし、庭園がきれいだから。	東京都
9	国立西洋美術館	8	日本を代表する美術館だから。	東京都
	金沢 21 世紀美術館	8	個性的な作品を肌でも体感できるから。金沢城の隣という立地、ワクワク感。	石川県

表２　人に勧めたい、何度も行ってみたい美術館、今後行ってみたい芸術祭などのアートイベント（複数回答）

順位	人に勧めたい、何度も行ってみたい美術館	％	今後行ってみたい芸術祭などのアートイベント	％
1位	国立新美術館	36.5	ヨコハマトリエンナーレ2014	19.3
2位	国立西洋美術館	32.4	京都国際芸術祭2015	17.4
3位	箱根彫刻の森美術館	25.9	瀬戸内国際芸術祭2016	16.5
4位	大原美術館	20.5	ヴェネツィア・ビエンナーレ（2014、2016）	15.0
5位	京都国立近代美術館	19.4	札幌国際芸術祭2014	10.5
6位	金沢21世紀美術館	16.1	あいちトリエンナーレ2015	8.9
7位	京都市美術館	15.8	おおさかカンヴァス2015	7.9
8位	横浜美術館	15.4	キエフ国際現代美術ビエンナーレ（2014、2016）	6.7
9位	足立美術館	12.4	セビリア・ビエンナーレ（2014、2016）	5.0
10位	安曇野ちひろ美術館	11.6	道後オンセナート2014	4.6

＊博物館（東京国立博物館、京都国立博物館など）は、選択肢から除いている